令和９年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和８年11月13日

上 場 会 社 名	日本精密株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7771	URL	https://www.nihon-s.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	井藤　秀雄
問合せ先責任者	（役職名） 上席執行役員	（氏名）	朴　　成鎭　　TEL　048-225-5311
半期報告書提出予定日	令和８年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．令和９年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（令和８年４月１日～令和８年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
９年３月期中間期	4,954	32.1	246	9.5	128	△21.3	76	△39.9
８年３月期中間期	3,751	1.8	225	△1.5	163	―	127	―

（注）包括利益　　９年３月期中間期　　76百万円（△50.0%）　　８年３月期中間期　　153百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
９年３月期中間期	3.20	―
８年３月期中間期	5.79	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
９年３月期中間期	6,178	2,115	34.2
８年３月期	6,018	2,038	33.9

（参考）自己資本　　９年３月期中間期　2,115百万円　　８年３月期　2,038百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
８年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
９年３月期	―	0.00			
９年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．令和９年３月期の連結業績予想（令和８年４月１日～令和９年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,652	△3.1	317	△15.5	232	△56.5	200	△43.0	8.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　― 社（社名）　　、除外　　― 社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	９年３月期中間期	24,180,047株	８年３月期	24,180,047株
②　期末自己株式数	９年３月期中間期	209,792株	８年３月期	209,792株
③　期中平均株式数（中間期）	９年３月期中間期	23,970,255株	８年３月期中間期	22,028,507株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
３．補足説明 …… 9
生産、受注及び販売の状況 …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（以下、「当中間期」という。）における世界経済は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しています。しかしながら、他方では金融資本市場の変動や中東情勢などの地政学的リスクが懸念され、先行き不透明な状況が続いています。国内においても、堅調な企業収益を背景に、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかに回復しているものの、自然災害の発生や物価上昇の継続に加え、金融資本市場の変動や中東情勢の影響などによる下振れリスクが続いています。

このような状況下、当社グループは、サステナビリティ経営を推進するとともに、「R&D（研究開発）機能強化」、「自動化・半自動化の促進」、「Beyond China戦略」、「販売・企画機能（村井）の強化」、「財務健全化」の５つを重点戦略として定め、進捗状況を適宜分析・評価しながら、令和８年６月29日に開示しました令和13年３月期を最終年度とする「ASEAN ProjectⅢ」の業績目標の達成に向けて取り組んでおります。

その結果、当中間期の連結売上高は4,954,718千円（前中間期は3,751,429千円）となり、前中間比では1,203,288千円（32.1%）増加しました。これは、外国為替相場の円安進行の影響に加え、とくに時計関連の受注が好調に推移したことなどによるものです。

損益につきましては、売上総利益は、前述の時計関連の売上高の増加はありましたが、製造子会社であるNISSEY VIETNAM CO.,LTD.における棚卸資産の評価損計上や原材料価格の高騰にともなう外注費上昇の影響などにより893,337千円（前中間期は850,321千円）となりました。売上総利益率は18.0%（前中間期は22.7%）です。本業の収益力を示す営業利益は、売上総利益の増加はありましたが、メガネフレームの営業赤字の計上などにより246,733千円（前中間期は225,259千円）となりました。また、重要な指標の一つである営業利益率は5.0%（前中間期は6.0%）です。経常利益は、当中間期の期末にかけての円高の進行にともなう在外子会社向け外貨建債権の為替換算による為替差損の計上などにより128,648千円（前中間期は163,503千円）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、当社及びNISSEY VIETNAM CO.,LTD.の法人税等の計上などにより76,599千円（前中間期は127,443千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

① 時計関連

時計関連の売上高は3,931,455千円となり、前中間期比で1,199,650千円(43.9%)増加しました。このうち、時計バンドの売上高は、国内の取引先は、前述の受注の拡大や円安進行の影響などにより329,858千円(25.9%)の増加となりました。一方、海外の取引先は、新規受注の獲得に厳しい状況が続いており14,212千円(24.7%)の減少となりました。また、時計外装部品の売上高は、時計バンドと同様に、国内の取引先からの受注の拡大や円安進行の影響などにより884,005千円(63.0%)の増加となりました。

これにより、セグメント利益は151,074千円（前中間期は117,039千円）となりました。

② メガネフレーム

メガネフレームの売上高は347,033千円となり、前中間期比で91,060千円(20.8%)減少しました。メガネフレームの販売子会社である㈱村井は、下期にかけては受注の回復が見込まれるものの、売上高の７割以上を占める主要ブランドである*agnès b.*（アニエスベー）、*JILL STUART*（ジルスチュアート）及び*Yohji Yamamoto*（ヨウジヤマモト）の売上高は、合計で63,027千円(19.4%)の減少となりました。

これにより、セグメント損失は28,476千円（前中間期はセグメント利益10,660千円）となりました。

③ 釣具・応用品

釣具・応用品の売上高は676,229千円となり、前中間期比で94,698千円(16.3%)増加しました。このうち釣具用部品は、円安進行の影響や堅調な受注に支えられ、売上高は100,971千円(17.8%)の増加となりました。なお、応用品の売上高は6,273千円(48.6%)の減少となりました。

これにより、セグメント利益は126,936千円（前中間期は100,355千円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は6,178,812千円となり、前連結会計年度末と比べ159,840千円増加しました。このうち、流動資産は3,783,460千円となり、221,689千円増加しました。これは主に、売上高の増加による現金及び預金や売掛金の増加などによるものです。固定資産は2,395,351千円となり、61,849千円減少しました。これは主に、有形及び無形固定資産の減価償却による減少などによるものです。

負債合計は4,063,714千円となり、83,180千円増加しました。このうち、流動負債は3,510,847千円となり、122,956千円増加しました。これは主に、買掛金の増加、未払法人税等の減少などによるものです。固定負債は552,867千円となり、39,775千円減少しました。これは主に、返済にともなう長期借入金の減少などによるものです。

純資産は2,115,097千円となり、76,660千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して、176,609千円増加し1,106,273千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は280,410千円（前中間期は63,436千円）となりました。増加要因としては、税金等調整前中間純利益128,444千円や減価償却費99,181千円の計上、仕入債務の増加213,471千円などがありました。一方、減少要因としては、売上債権の増加61,379千円や棚卸資産の増加52,938千円などがありました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は61,266千円（前中間期は22,168千円）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出59,778千円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は17,402千円（前中間期は59,928千円）となりました。これは主に、短期借入金の純増額28,758千円、長期借入金の返済による支出42,452千円などによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和９年３月期の連結業績予想につきましては、令和８年５月15日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和８年３月31日）	当中間連結会計期間 （令和８年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	939,663	1,116,273
売掛金	799,517	845,559
電子記録債権	357	357
商品及び製品	986,994	1,044,121
仕掛品	282,180	341,572
原材料及び貯蔵品	335,506	253,341
その他	218,625	183,160
貸倒引当金	△1,074	△926
流動資産合計	3,561,770	3,783,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,600,746	1,531,061
機械装置及び運搬具（純額）	225,407	227,570
工具、器具及び備品（純額）	36,047	34,697
土地	81,781	81,781
建設仮勘定	―	7,562
有形固定資産合計	1,943,983	1,882,673
無形固定資産		
借地権	397,392	384,184
その他	14,579	16,936
無形固定資産合計	411,972	401,120
投資その他の資産		
投資有価証券	34,230	48,204
繰延税金資産	9,027	7,027
敷金及び保証金	32,264	32,440
その他	26,736	24,895
貸倒引当金	△1,014	△1,010
投資その他の資産合計	101,244	111,556
固定資産合計	2,457,200	2,395,351
資産合計	6,018,971	6,178,812

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和８年３月31日）	当中間連結会計期間 （令和８年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	709,974	917,493
短期借入金	2,052,460	2,074,479
1年内返済予定の長期借入金	134,904	134,903
未払法人税等	192,259	64,992
賞与引当金	26,497	61,590
その他	271,795	257,387
流動負債合計	3,387,890	3,510,847
固定負債		
長期借入金	486,489	444,037
繰延税金負債	326	4,086
退職給付に係る負債	90,768	93,704
その他	15,057	11,038
固定負債合計	592,643	552,867
負債合計	3,980,533	4,063,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118,287	2,118,287
資本剰余金	2,101,392	2,101,392
利益剰余金	△1,792,209	△1,715,610
自己株式	△41,563	△41,563
株主資本合計	2,385,906	2,462,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	710	8,898
為替換算調整勘定	△348,179	△356,306
その他の包括利益累計額合計	△347,469	△347,408
純資産合計	2,038,437	2,115,097
負債純資産合計	6,018,971	6,178,812

（２）中間連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 令和７年４月１日 至 令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 令和８年４月１日 至 令和８年９月30日）
売上高	3,751,429	4,954,718
売上原価	2,901,108	4,061,381
売上総利益	850,321	893,337
販売費及び一般管理費	625,061	646,603
営業利益	225,259	246,733
営業外収益		
受取利息	1,618	511
受取配当金	340	393
持分法による投資利益	―	537
受取家賃	5,471	9,076
雑収入	7,927	6,874
営業外収益合計	15,358	17,393
営業外費用		
支払利息	34,149	42,540
支払手数料	6,347	23,688
持分法による投資損失	55	―
為替差損	34,677	67,230
雑損失	1,885	2,020
営業外費用合計	77,114	135,479
経常利益	163,503	128,648
特別利益		
固定資産売却益	792	―
特別利益合計	792	―
特別損失		
固定資産除却損	115	204
特別損失合計	115	204
税金等調整前中間純利益	164,180	128,444
法人税、住民税及び事業税	27,740	49,845
法人税等調整額	8,996	2,000
法人税等合計	36,736	51,845
中間純利益	127,443	76,599
（内訳）		
親会社株主に帰属する中間純利益	127,443	76,599
非支配株主に帰属する中間純利益	―	―
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	8,188
為替換算調整勘定	25,777	△8,126
その他の包括利益合計	25,770	61
中間包括利益	153,213	76,660
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	153,213	76,660
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 令和７年４月１日 至 令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 令和８年４月１日 至 令和８年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	164,180	128,444
減価償却費	99,480	99,181
貸倒引当金の増減額（△は減少）	269	△152
賞与引当金の増減額（△は減少）	27,357	35,092
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	3,481	3,988
受取利息及び受取配当金	△1,958	△905
支払利息	34,149	42,540
為替差損益（△は益）	19,165	70,549
売上債権の増減額（△は増加）	△120,122	△61,379
棚卸資産の増減額（△は増加）	△111,567	△52,938
仕入債務の増減額（△は減少）	△40,090	213,471
立替金の増減額（△は増加）	5,181	4,073
その他	18,370	△13,491
小計	97,895	468,475
利息及び配当金の受取額	1,958	905
利息の支払額	△30,504	△32,202
法人税等の支払額	△5,913	△156,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,436	280,410
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△21,517	△59,778
有形及び無形固定資産の売却による収入	792	―
投資有価証券の取得による支出	△1,442	△1,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,168	△61,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△14,789	28,758
長期借入金の返済による支出	△41,429	△42,452
その他	△3,708	△3,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,928	△17,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,501	△25,132
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△23,161	176,609
現金及び現金同等物の期首残高	865,858	929,663
現金及び現金同等物の中間期末残高	842,696	1,106,273

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（財務制限条項）

当社が、リファイナンスによる金融取引の正常化及び返済負担の軽減を図るため、令和７年２月25日に株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとする金融機関８行と締結したシンジケートローン契約（当中間連結会計期間末の借入残高 1,740,000千円）には、以下の財務制限条項が付されており、当該条項に抵触した場合、契約上の全ての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

① 決算期末日の連結貸借対照表の純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期末日又は令和６年３月に終了する決算期末日の当該金額のいずれか大きい方の75%の金額以上に維持する。

② ２期連続して決算期に係る連結損益計算書上の営業損失を計上しない。

なお、当中間連結会計期間末において、上記財務制限条項には抵触しておりません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 令和７年４月１日 至 令和７年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	時計関連	メガネフレーム	釣具･応用品	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,731,804	438,093	581,530	3,751,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	2,731,804	438,093	581,530	3,751,429
セグメント利益	117,039	10,660	100,355	228,056

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	228,056
未実現利益の調整	△2,796
中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益	225,259

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 令和８年４月１日 至 令和８年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	時計関連	メガネフレーム	釣具･応用品	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,931,455	347,033	676,229	4,954,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	3,931,455	347,033	676,229	4,954,718
セグメント利益又は損失(△)	151,074	△28,476	126,936	249,533

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	249,533
未実現利益の調整	△2,800
中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益	246,733

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

３．補足説明

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	生産高(千円)	前中間期比(%)
時計関連	2,811,526	+67.0
釣具・応用品	759,830	+29.4
合計	3,571,356	+57.3

(注) １．セグメント間取引はありません。
２．時計関連の生産高が著しく増加しております。これは、時計関連の売上及び受注の増加にともなう、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.の生産及び国内における外注生産の増加によるものです。

(2) 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高(千円)	前中間期比(%)	受注残高(千円)	前中間期比(%)
時計関連	3,937,155	+39.2	752,462	+27.3
メガネフレーム	498,952	+21.4	275,523	+38.6
釣具・応用品	642,197	+18.5	253,586	+10.0
合計	5,078,304	+34.3	1,281,571	+25.6

(注) セグメント間取引はありません。

(3) 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	販売高(千円)	前中間期比(%)
時計関連	3,931,455	+43.9
メガネフレーム	347,033	△20.8
釣具・応用品	676,229	+16.3
合計	4,954,718	+32.1

(注) １．セグメント間取引はありません。
２．主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
カシオ計算機株式会社	1,555,427	41.5	2,680,441	54.1
CASIO COMPUTER(HK) LTD.	1,051,994	28.0	1,105,707	22.3